



HEADCOLLAR

イージーウォーク ヘッドカラー

獣医師や
トレーナーも
おすすめ



トレーニングガイド

ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

注意

本製品は、落ち着きのない、あるいは攻撃的な愛犬には適しません。そういう愛犬は、ヘッドカラーを抜け出して飼い主や周囲の人に大けがや死亡事故をもたらす可能性があります。ご自分の愛犬に本製品を使用することが適切かどうかわからない方は、獣医師やプロのドッグトレーナーにご相談ください。

- ・ブルドッグやバグなどの短頭種では、ノーズループが外れてしまって装着できなかつたり、最悪の場合呼吸困難に陥る可能性がありますので、本製品を使用しないでください。
- ・リードを30秒以上続けて引っ張らないようにしてください。リードが引っ張られていると愛犬は口を開けることができません。
- ・愛犬と一緒にジョギングをしたりする際は、すり傷にご注意ください。愛犬が不快感を示したときは、すぐにご使用をおやめください。
- ・愛犬にヘッドカラーを装着しているときは、愛犬から目を離さないようにしてください。装着時は必ず飼い主が見張るようにし、取り外したヘッドカラーは愛犬が触れられない安全な場所に保管してください。
- ・本製品に損傷が認められた場合は、すぐにご使用を中止してください。

このたびはプレミアの製品をお選びいただき、ありがとうございます。本製品を正しくご使用されることで、愛犬の学習意欲を促進し、信頼関係を育むことができます。製品に関するご質問がございましたら、弊社ウェブサイト (www.premier.com) をご覧いただくか、カスタマーケアセンター (0120-208-278) までお問合せください。

お買い上げの際の領収書を保管することで、製品に関するすべての保証が受けられ、お電話でお問い合わせいただいた際の迅速な対応が受けられるようになります。弊社はお客様の大切な個人情報を第三者に提供したり転売することは一切ありません。保証内容の詳細は弊社ウェブサイト (www.premier.com) にてご覧いただけます。

目次

サイズ表	3
本製品のしくみ	4
各部位の名称	5
正しい使い方	5
装着の手順	6
ご使用のコツ	9
トレーニングガイド	
きっかけとごほうび	10
飼い主の横を歩かせる	10
おすわりを教える	11
引っ張りや飛びつきをやめさせる	12
人への飛びつきをなくすには	13
ご使用のヒント	14
利用規約と免責事項	15

サイズ表

S	11kg以下	ミニチュアダックス、柴犬、チワワ等
M	11kg~27kg	ポインター、スパニエル等

本製品のしくみ

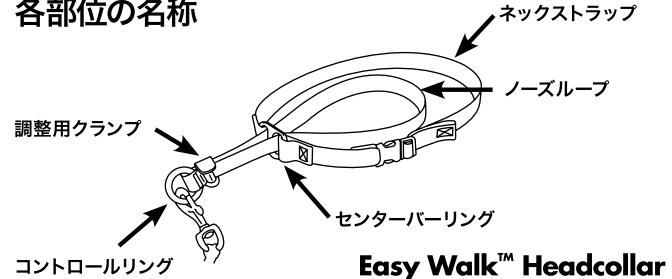
本製品は、飼い主のリクエストを「犬の言葉」に翻訳し、飼い主がリーダーであると愛犬が認識できるように設計されています。

イヌは社会的動物です。イヌのむれ（グループ）の中では順位が決まっていて、下位のイヌは上位のリーダーの言うことには従いますが、自分より目下の命令は聞きません。家族として暮らしている愛犬も同じことです。貴方の言うことを聞いてもらうためにはまず、同じ家族の中でも貴方がリーダーであり、より上位にいることを愛犬に認識してもらう必要があります。

イージーウォーク・ヘッドカラーは2つの部分からなっています。ノーズループは、イヌのリーダーが下位のイヌのマズル部分をやさしくわえるのと同じ原理で順位付けを教えます。また、母イヌが子イヌをくわえて運ぶ時に子イヌがおとなしくなってしまうように、首の後ろにも「服従のツボ」が存在しています。ネックストラップはそのツボを圧迫し、服従本能を刺激するように設計されています。

また、リードの取り付けリングが前方に装着されていますので、「引かれる力と逆方向へ進もうとする本能的な反発衝動」を利用して引っ張りをやめさせることができます。

各部位の名称



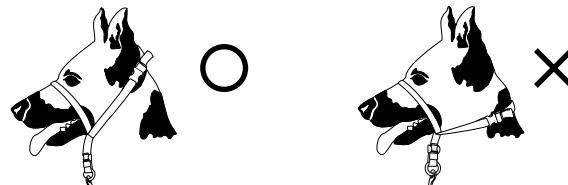
Easy Walk™ Headcollar

正しい使い方

本製品を使用する前に、必ず取扱説明書を最後までお読みになり、装着方法やしつけの方法をご確認ください。本製品に関して「効果がない」というお問い合わせをいただく場合、多くはネックストラップがゆるすぎるか、リードを引っ張る・ゆるめるという信号の出し方が不適切なことに起因しています。この点を間違えると本製品の効果は全く発揮されません。

本製品を効果的に使用するには、正しい場所に適切なフィット感で装着することが大切です。ノーズループは鼻の付け根にはずれない程度にゆるく装着してください。ネックストラップは頭蓋骨と首の境目のできるだけ高い位置に装着し、指1本がかろうじて入るくらいきつくフィットさせてください。ネックストラップがゆるいとノーズループがずれ、鼻の皮膚をすってしまします。

本製品を正しく装着すると、横から見たときに「V」が描かれます。「L」になっているときは、正しく装着されていません。



ネックストラップの正しい装着状態

- できる限り首の一番上の位置（耳のすぐ後ろで頭蓋骨の後ろの下側、または前方は喉仏の上）に固定してください。
- 首の周りで回転しないようにしてください。
- 首の上でぴったりとさせ、ベルトや時計のバンド、あるいは靴のように指一本がかろうじて入る程度にしてください。これは、すべてのフィッティングの手順の中で一番重要な部分です。お客様自身のどの、どのほど仮より下の部分を強く押してみてください。すぐに不快になるはずです。しかし、のど仮より上の部分は、かなり強く押しても不快になります。これと同じ原理で、首のできるだけ上の適切な場所にネックストラップを装着していれば、強く締めても愛犬が不快になることはありません。ネックストラップをゆるませてあげようという衝動には負けないようにしてください。ゆるめてしまうと、愛犬はノーズループを前足で外すことができるようになり、結果としてノーズループを締め過ぎることになってしまいます。あるいは不快感からノーズループを回転させることになるでしょう。

ノーズループの正しい装着状態

- 愛犬が自由に口を開けることができるよう（ボールをくわえることができる程度に）ゆるめて快適にしてやってください。
- 目元から鼻の肉の部分（濡れている部分の手前）まで自由に動くようにしてください。
- 口元の後ろ側に据えてください。
- （スナップクランプを調節したあとに）鼻から外れることがないよう、ゆるめ過ぎないように注意してください。

装着の手順

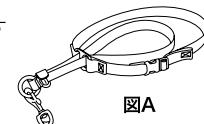
注意

ブルドッグなどの短頭種に使用すると呼吸困難に陥ることがあります。呼吸困難に陥った場合は、ご使用をただちに停止し獣医師にご相談ください。

初めて本製品を装着する際は、愛犬をほめたりごほうびを与えることをおすすめします。

Step 1

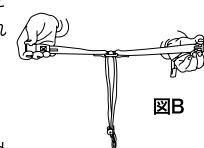
リードをコントロールリングに取り付けます
(図A)



図A

Step 2

ネックストラップのバックルをはずし、両端を持ちます。ノーズループとリードがT字に垂れ下がるようにします(図B)



図B

Step 3

センターバーリングを愛犬の喉仏の上の窪みに合わせ、ネックストラップを頭蓋骨と首の境目で仮にフィットさせてください。センターバーリングが下顎の下側ではなく首に沿っていることを確認し(図C)、ネックストラップを指一本がぎりぎり入るくらいのきつさにフィットさせます。「きつすぎるかな」と思うくらいがちょうど良いきつさです。ネックストラップを上方に引きながら、首の後ろの皮膚を優しく下に引っ張ります。ネックストラップが回転しないことを確認し、必要に応じて締め直します(図D)。同時に、愛犬が不快感を示していないことも確認してください。



図C

Step 4

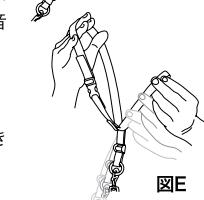
ネックストラップを外してください。調節クランプを図Aのようにコントロールリングのところまで移動させます。調節クランプを開けるにはタブを親指かコインなどで押し上げます。閉めるにはタブをパチンと音がするまで下げます。



図D

Step 5

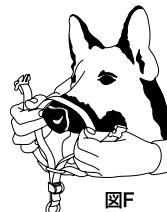
ノーズループをセンターバーリングから引き上げます(図E)



図E

Step 6

愛犬を脇または足の間に挟み、ノーズループを広げます。愛犬の頸の下に両手を当て、ノーズループを鼻口の根元まですべらせて装着します（図F）。初めて装着する際は、ごほうびになるフードを与えて関心を引いておくことをおすすめします（ノーズループを装着する前に愛犬のマズルや頬を優しくマッサージすると新しい感覚に早く慣れるとのお客様の声もいただいている）。ネックストラップを頭蓋骨と首の境目で留めます（図G）。



図F



図G



図H



図I

Step 7

最後にノーズループを調節します。口角の後ろから鼻先までずらせるくらいに余裕を持たせつつ、マズルから完全に外れない長さにしたら、調節クランプを上下に滑らせて仮止めします（図H）。ノーズループを前後に動かして愛犬の鼻先に触れつつ、はずれないと確認したら、スナップクランプのタブをきっちり閉めます（図 I）。

Step 8

愛犬が成犬サイズになったら、ネックストラップの余分な長さは切っちゃってかまいません。この際、本製品を愛犬から外し、ハサミでストラップの端を切り取り、端をマッチやライターの火であぶるとほつれを防ぐことができます。

ご使用のコツ

本製品を初めて愛犬に装着した際、慣れるのに数分かかる場合があります。フィッティングが終わったら、フードや言葉で励ましながら飼い主の横に来るよう5、6歩前進させ、おすわりをさせます（フード、言葉、なでるなどごほうびを与えます）。再び歩かせ、おすわりをさせます（「飼い主の脇を歩かせる」「おすわりを教える」をご参照ください）。歩行とおすわりがきちんとできるようになるまで5~10回ほど繰り返してください。

初めはノーズループに対して抵抗を示すかも知れません（一般的に、いちばん抵抗を示す犬ほど本製品を使ったしつけを必要としています）。

これは苦痛を感じているのではなく、飼い主が自分より上の立場になることに抵抗を示しています。このときに、なでたり優しい言葉をかけたりしないでください。愛犬が抵抗を示すのをやめて、おとなしく歩行したり、おすわりができるようになるまでは、ほめることもなでることも控えてください。抵抗を示している間にはめてしまうと、装着するごとに抵抗を示すようになってしまいます。愛犬が順位付けに慣れ、リーダーシップを認めると、抵抗はなくなっています。

注意

運動中やストレスを感じたとき、犬は口を開けて「ハアハア」と呼吸をする必要があります。リードを30秒以上続けて引っ張らないようにしてください。リードが引っ張られていると愛犬は口を開けることができません。

良い結果がなかなか出ないような場合は、次のことをご確認ください。

- 正しく装着されているか（ネックストラップがゆるすぎる、ノーズループがきつ過ぎるなど）。本製品に関して「効果がない」というお問い合わせをいただいた場合も、多くはゆるすぎるネックストラップを締め直すことで効果を上げることができます。
- フードや言葉でごほうびをあげているか。
- 愛犬が指示に従ったとき、リードの緊張をゆるめているか。

ヒント

リードの引き具合は「イエス」「ノー」の信号と考えてください。リードを完全にゆるめているときは「イエス」、少しでもリードを引っ張っているときは「ノー」という意味です。中途半端が一番いけません。引っ張るかゆるめるか、信号を明確にしてあげることが重要です。愛犬が静かに歩いているときや静かに座っているときは、必ずリードを完全にゆるめて「イエス」の信号を送るようにしてください。

きっかけとごほうび

前向きなきっかけを作り、ごほうびを与えることでトレーニングがスムーズに進むようになります。

ごほうび：

- ・愛犬が好きなフードを細かく切ってからあげてください。愛犬のお腹が空いているときは特に効果があります。
- ・愛犬に優しく高い声で言葉をかけてください。どなつたり厳しく叱ったりしてはいけません。愛犬が怯えてしまい、覚えが遅くなります。
- ・ゆっくり歩く、静かに座るなど、飼い主が望んでいることを愛犬が実行した瞬間に、リードを完全にゆるめてください。

ヒント

ごほうびは期待している行動が終了してから必ず5秒以内に与えてください。そうでないと、愛犬は何のごほうびなのかわかりません。ごほうびはすぐ取り出せるようにポーチかポケットに入れておいてください。

飼い主の横を歩かせる

愛犬の横に立ち、リードをヘッドカラーとの接続部分の近くで握り、5cmほどたるませます。前に歩き始め、「行こう」、「歩いて」など、明るく励ますように声をかけます。愛犬が静かに横を歩いているときは、絶対にリードを引っ張らず、ごほうびや言葉で励ましてあげましょう。

愛犬が飼い主の歩調より遅れたり、一緒に歩くのを嫌がったりした場合でもリードを引っ張らないでください。リードを引くと首の後にプレッシャーがかかり、さらに愛犬の歩調が遅くなってしまいます。代わりに飼い主が自分の足を軽く叩いたり、言葉をかけたり、ごほうびやおもちゃを使ってついて来させるようにしましょう。愛犬が歩き出したらすぐに優しく、明るい声でほめてごほうびを与えてください。

ごほうびを与えても愛犬が動かないようであれば、ほんの一瞬、軽くリードを引っ張り、すぐに放してバランスを崩してみてください。まっすぐ引くよりも、やや横に引くと効果があります。飼い主の横を静かに歩行しているときはリードをゆるめ、愛犬に声を掛けることが重要です。

おすわりを教える

本製品を使用すると愛犬の背中や下半身を押さえることなく、自然におすわりを学習します。すでに「おすわり」ができる場合は、本製品は飼い主の指示にすばやく従わなかつ場合のバックアップとしてお使いください。

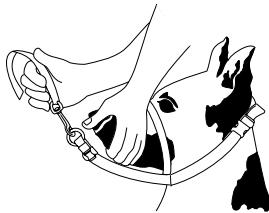
愛犬がおとなしく座っているときは、絶対にリードを引っ張らないでください。愛犬にとってリードのゆるみは、飼い主に望まれていることをしているというメッセージになります。

おすわりを学習させる際は、愛犬を飼い主の脇か正面に立たせます。リードはスナップから7cmほどのところで握ります。リードを鼻先前方へ引き、次に優しく上方に引っ張り、鼻が天井を向くようにします。鼻先が上に向くと頭が少し後ろに倒れるので、おしゃりが自然と下に落ちるのです。愛犬がおすわりを始めたたらすぐにリードをゆるめ「おすわり」と声をかけます。すぐにはめながらなでてごほうびを与えてください。愛犬は座る姿勢と「おすわり」の言葉を結びつけることができるので、リードを引く必要は徐々になくなります。

愛犬によりすばやく反応させるには、本製品と同時にフードを使うとよいでしょう。リードを前方・上方に引くとき、こぶしの中にごほうびを入れておき、その手を愛犬の鼻先に出し、ゆっくり上方から頭上へ動かします。鼻先があなたの手についてくるので体重が後ろへ移動し、おすわりをしやすくなります。犬がおすわりを始めたらリードをゆるめ、「おすわり」と声をかけます。すぐに言葉をかけたりなでたりしながらフードのぐ

ほうびをあげましょう。

愛犬がなかなかおすわりを学習しない場合は、「カップつかみ」のテクニックを使いましょう。愛犬を飼い主の左側に立たせてください。リードを右手(犬がいる側と反対の手)に持ち、スナップのすぐそばを握ります。左手を愛犬の頭部から頸の下に回し、カップを持つように口元を掴んでください。リードを前方・上方に引き、鼻先を天井に向けると同時に頸の下に置いた手で鼻先を上に向ける補助をします。



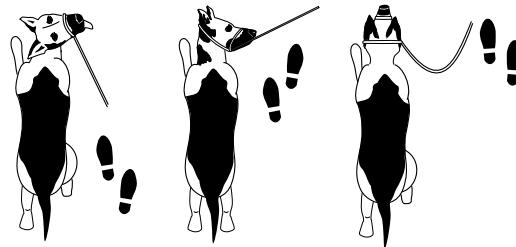
愛犬が多少抵抗を示しても、諦めないで続けてください。愛犬がお尻を下げ始めるまでリードは前方・上方にひいたままにします。おすわりの姿勢をとり始めたらすぐにリードをゆるめて、言葉をかけてフードを与えましょう。このとき、マズルは掴まないことが大切です。

愛犬が飛び上がったり後ろ足で立って抵抗を示しても慌てないでください。この場合の正しい対処は、頸の下から頭部を掴むように口元をくるみ、前方・上方に引き続けることです。愛犬がお尻を下げ始めたらすぐに手を離してごほうびを与えてください。

わずかな信号を送るだけでおすわりができてしまう場合もありますが、愛犬が抵抗し続けるようであれば、必要以上にリードを引いている場合があります。この場合はリードの引き具合をゆるめてみてください。

引っ張りや飛びつきをやめさせる

引っ張りや飛びつきを止めさせるには、リードのゆるみを5cm以内にします。愛犬が引っ張ったり飛びついたりしそうになったら、リードをしっかりと(強く引くのではなく)持って愛犬の鼻と頭が後ろを向いて飼い主の方を見るようにしてください。犬が引っ張るのを止めて歩調を遅くしたら、すぐにリードをゆるめてください(これがトレーニングでいちばん重要な部分です)。言葉をかけてフードを与えてください。



愛犬が飼い主より前に出て引っ張って歩いてしまう場合は、リードをゆるめすぎていません。たるんだリードを素早くまとめ、飼い主の方を向くように優しくリードを引きます。通常の歩調で歩き続け、犬の横に並んだらすぐにリードをゆるめ、言葉をかけてフードを与えてください。

人への飛びつきをなくすには

飛びつきをなくす簡単な方法は、その行動を「おすわり」と取り替えることです。友人に協力してもらいましょう。リードを5cmほどゆるませて持ち、「おすわり」をさせます。友人が近づいてきても愛犬が座り続けていたら、すぐにごほうびを与えます。10~15秒後に、その友達に愛犬に挨拶をしてほめてもらい、ごほうびをあげるように頼みます。愛犬がおすわりの姿勢から動きだそうとしたら、やさしくリードを前方・上方に引いて動きを止め、「おすわり」と再び声をかけます。おすわりの姿勢をとったら、すぐにリードをゆるめます。愛犬の動きをよく見て、動き出そうと体重移動を始めたたら、すぐに前方・上方にリードを引きます。

愛犬が飛びついてしまっても、リードを下向きに引かないでください。飼い主は下向きにリードを引いてしまいがちですが、「反対方向への反射作用」で説明したように、愛犬にとって効果はありません。正しいテクニックは、おすわりを教えるときのようにリードを前方・上方に引くことです。おすわりをしたらほめてあげることも忘れないでください。

ご使用のヒント

- ・本製品は生後8～10週間の子犬から、引っ張り、飛びつき、むだぼえを止めさせたい成犬まで対応しています。夜間は外すことをおすすめします。
- ・愛犬を混乱・抵抗させる原因となりますので、リードを30秒以上引っ張り続けることは絶対にしないでください。
- ・リードをきつく引いたり、ぐいっと引っ張らないようにしてください。チョークカラーとは違います。大切なのはリードを優しく引き、すぐにゆるめることです。
- ・動物行動学者やドッグトレーナーは、本製品には怖がりなイヌや内気なイヌが不安を抱くような環境にいても、安心感と落ち着きを生む効果があると報告しています。本製品を通じて飼い主のリーダーシップを愛犬は本能的に感じ取り、反応する所以リラックスできるのです。ストレスが減ると愛犬の学習能力が高まり、よいパートナーとなるでしょう。
- ・より複雑な問題を抱えていたり、さらに手助けが必要な場合は獣医師やトレーナー、行動学者など専門家にご相談されることをおすすめします。
- ・本製品は愛犬の問題行動に対処するのに有効な道具ですが、「治療」を目的としたものではありません。問題行動についての診断および処方プログラムをご希望の場合、専門家にご相談ください。

利用規約と免責事項

1. 利用規約

本規約に記載された約定、条件、ならびに通知に変更を加えることなく承諾することを条件として、本製品は購入者に提供されます。本製品を使用された時点で、全ての約定、条件、ならびに通知を承諾したとみなされます。

購入者が約定、条件、および通知に同意されない場合は、購入の事実を証明する領収書等を添え、製品を未使用の状態で当初の包装にて、送料はお客様ご負担の上、カスタマーケアセンターまでお送りください。ご返金させていただきます。

2. 適切な使用

本製品の使用目的はペットのしつけです。ペットに固有の気性、大きさ、体重により本製品の効果が発揮されない場合があります(本トレーニングガイドの「サイズ表」をご参照ください)。購入者のペットに攻撃的な性質があり、適切な使用に責任を負えない場合は、本製品を使用しないでください。

本製品を使用することが適切かどうかわからない場合は、獣医やプロのドッグトレーナーにご相談ください。適切な使用とは、装着ガイドおよび警告文をもれなく読んで理解した上でのご使用を意味します。

3. 違法使用、不正利用の禁止

本品はペットへの使用のみを考慮した製品です。ペットのしつけを目的としており、危害を加えたり、傷つけたり、挑発したりするための道具ではありません。意図しない方法により本製品を使用した場合、法令違反になる可能性があります。

4. 免責事項

いかなる場合も弊社および関連会社は、直接損害、間接損害、懲罰的損害、偶発的損害、特別損害、結果的損害、もしくは、本製品の使用や誤用に関係・起因するどのような損害に対しても責めを負わないものとします。購入者が本製品の使用によって生じるすべての危険と責任に対する責めを負います。錯誤回避のために詳述するならば、本条は人の死、けが、不正、不当表示による弊社の法的義務を限定するものではありません。

5. 利用規約の変更

弊社は、本製品が提供された際の約定、条件、ならびに通知を変更する権利を保持します。購入者が使用前に変更通知を受けた場合、ここに記された条件と同様の拘束力が発生します。

他のプレミア製品は
www.premier.comでご覧いただけます。

ラジオシステムズコーポレーション
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-25-9
14201 Sommerville Ct., Midlothian, VA 23113 USA
カスタマーケアセンター
 0120-208-278
www.premier.com

米国特許出願中
©2011 Premier Pet Products, LLC
400-1302-18